

浅川力三 県政だより



誠意・熱意・創意・勇気を持って「熱き心で行動する男」

ホームページアドレス <http://www.asakawa-rikizo.net>

将来の生活環境は、
今、行動しなければ
守る事はできません。

県議会議員 浅川 力三

本格的な夏を前に、例年にない雨模様が続き天候不順が気になるころですが、地域の皆様は如何お過ごしでしょうか。

慌ただしい世相にあるなかで、皆様方には私の政治活動に対しまして、日頃から、変わらぬ多くのご支援・ご指導をいただき衷心より御礼申し上げます。

また、過日、横内知事をお招きして開催した武川町フレンドパークで後援会の集いには、お忙しい中を270名以上に及ぶ支援者の方々にご参集いただきグランドゴルフとバーベキューを楽しみました。内憂外患の社会情勢にあつて、

知事も地域の皆様と楽しく

交流することで、リフ

レッシュでき、県政推進に向けた新たなエネルギーを得たのではないかと思います。

当日、束の間の知事の心安らぐ笑顔を目の当たりに

しまして、私は、県政与党の一員として、知事の掲げる県政推進に向け、これまで以上の後方支援に鋭意努めねばならない思いを

強くいたしたところです。

さて、気になる身近な景気動向ですが、中国をはじめとするアジアを中心とした新興国の台頭もあり、最近、持ち直しの兆しが見えはじめております。各種経済指標も上向きの傾向を示しており、最悪の事態は回避されつつありますが、県内に、この追い風を一刻も早く、強く、吹き込むような施策が焦眉の急となっております。

6月議会でも、農業、観光、雇用問題などが取り上げられましたが、今後、県をはじめ国の経済対策の動向も注視しながら、機動的かつ実効性が伴う施策が展開されるよう取り組んで参ります。



地球温暖化防止に役立て！
植樹活動に参加しました！

5月14日は甲州市大和町の山林で檜を植栽、5月23日にはヴィンテージ

ファームが耕作放棄地解消のための企業参入第一号としてワイン用葡萄を植栽、6月13日には清里高原つつじ祭りにおいてつつじを植樹、6

月19日には北杜ライオンズクラブで45周年記念大会式典を清泉寮で行いヤマナシの木を植樹しました。未来の子供たちのために地域の環境を守り続けていきます。



清里で1,500人のウォーキング！

6回目を数える「清里ウォーク」は、お天気にも恵まれ、今年も大勢の皆様にご参加いただき大盛況でした。

5月18日 韮崎市倫理法人会
モーニングセミナーで講演
「農業と観光およびC型肝炎対策」の3つのテーマでお話させていただきました。

静岡県議会議長とともに横内知事を表敬訪問

山梨県の耕作放棄地、農業振興のため静岡県議会議長と静岡県議会の企業である浜松ヨシケイの社長、会長が横内知事と面談、これからの農業推進などについて意見交換の場に同席しました。



横内知事にツキノワグマの保護要請。

野生のクマ保護活動に取り組んでいる日本熊森協会のメンバーとともに県内生息数の400頭の保護対策について検討をお願いしました。



《質疑内容》

本会議【代表質問】

※主なものを掲載

＜農業振興＞

- 農務事務所ごとに、市町村・JA・生産者などで構成する産地戦略会議を開催し、農家の商品開発、販路拡大を支援
- 農産物直売所の専門アドバイザーによる診断結果に基づき、運営のノウハウを学ぶ「魅力創造講座」を開設

＜県産果実＞

- 日本貿易振興機構に職員1人を派遣してエキスパートを養成
- マーケットとして期待できるシンガポールからバイヤーを招き県産品の説明会、試食会を開催するなどして販路拡大

＜口蹄疫対策＞

- 飼育農場に無償で8週間分の消石灰を配布、消毒薬や防護服などの確保
- 子牛価格に関する情報をJAと連携して提供するほか、生産に関わる損失補償制度の紹介

＜外国人観光客誘致＞

- 上海万博でトップセールスを展開して山梨の魅力を直接PR
- 現地旅行業者で組織する「やまなしサポーターズクラブ」を立ち上げ、誘客の促進と県産品の輸出拡大を推進

＜雇用対策＞

- 今後成長が見込まれる介護・農林・観光などの重点分野に雇用を創出
- 地域ニーズに応じた人材を育成する事業に取り組むなどして450人の雇用の場を確保

＜中部横断自動車道の沿線地域活性化＞

- 沿線を北部ブロックと峡南ブロックに分け「農と食」、「観光」をテーマにして地域活性化を推進
- 本年度に具体的なプロジェクトの検討・立案、それに関わる有用な人材の確保や組織の立ち上げ

＜医師不足＞

- 県内勤務の場合は返済を免除する奨学金の創設、山梨大医学部の定員増や入学者の地域枠の拡大
- 峡南、富士・東部医療圏に地域医療研修センターを開設して山梨大からの医師の派遣を依頼

6月定例
県議会議を
終えて

参院議員選挙のため、例年より早く開催された6月議会でしたが、論戦を通じて、国・地方を問わず厳しい財政事情のもと、社会・産業・環境の変革期にあるなかで、魅力ある県土作りは容易ではないと改めて痛感いたしました。横内知事の憂いは如何ばかりかと思いますが、明るい兆しは、冒頭でも触れましたように、景気回復の兆候があらわれはじめたことであります。しかし、世界の動勢は目まぐるしく変動しており、彼方の国の経済情勢が瞬く間のスピードで我が国、我が県に大きな影

響を及ぼす時代であることを考えますと安穩ともしておれません。

国、地方をあげて、世界の潮流に対応できる社会作りが求められており、私たちが真正面から、その現実を受け入れ、目先にとらわれず、10年後、20年後に向けた国造り・県土作りをしなければならぬと考えております。

私は、このことを基本に、残された任期、横内知事と共に、将来を見据えた県政を推進して参りたいと考えております。今後も、皆様方の叱咤激励よろしくお願いたします。

農政商工観光委員会

＜口蹄疫対策について＞

【問】口蹄疫の感染ルートとその防御対策は
【答】鳥類や昆虫の媒介説もある。ウイルスは空気感染するとも言われ、川南町から都城市まで40kmまで感染している。早く疑似患畜を抑えることが重要

【問】甲州牛への影響は

【答】甲州牛に認定された牛の4割が宮崎県産である。現在、宮崎県の家畜市場は閉鎖さ



れており子牛の供給がなく、東北からの導入になるなどの影響が懸念される。

【問】子牛頭数を増やすための支援策は

【答】八ヶ岳牧場で生産された肉用子牛を、年130頭を160頭に増加。また、酪農試験場では、受精卵供給を昨年の152個と同等に供給して生産基盤の強化など、制度融資などを活用して必要な子牛導入を推進。

【問】韓国での発生状況は

【答】韓国は5月30日以降、発生報告はない。浄化宣言は韓国政府から出ていない。

【問】口蹄疫対策特別措置法は

【答】特措法は現行法を補完し、感染拡大の予防的な殺処分を強制的に実施できるほか、埋却用地を国の責任で確保するなどが柱。2012年3月までの時限立法で財政措置総額は1000億円、農家の責務だった埋却地の確保は、地方公共団体や国が用地の確保、人員に責任を持つこととなった。感染防止の消毒は、指定地域の通行車両にも義務づける。拡大防止のため、発生農場以外の健康な家畜にも所有者の同意なく殺処分ができるほか、国が知事に代わりワクチン接種が可能となった。殺処分の手当金は特措法で事実上国が全額負担

【問】埋却場所を想定して対応は。

【答】民有地や県有地、市町村有地の候補地を選定。最大で、県内には牛、豚等が約3万4千頭いて、埋却地が10haは必要となる、水源などの制約があり候補地の埋却の可否を調査中

＜農業協力隊について＞

【問】農業協力隊の隊員と隊員を育成する支援機関について、現状、どのようになっているのか。

【答】北杜市では、4つの支援機関で11名の隊員を受け入れており、県下で最も活発な活動がされている。11名の隊員めほとんどが野菜栽培を研修しており、地域を支える担い手として定着することが期待されている。

【問】県で本年度より、「就農定着支援制度」を実施しているが、農業協力隊とどこが違うのか。

【答】農業協力隊は県外の若者を対象、また、就農定着支援制度は県内、特に果樹栽培を志す若者を対象としている。

【問】就農定着支援制度も農業協力隊も、事業終了後に着実に就農するために、県としてどのように対応していくのか。

【答】円滑な就農に向けてバックアップをしていきたい。

【問】就農定着には農政部全体で支援する取り組みが必要ではないか。

【答】それぞれが就農できるまで、普及センターが中心となり、また各種の事業を活用し積極的に支援していきたい。

＜観光施策について＞

【問】八ヶ岳観光圏の本年度の事業は

【答】本年度は7事業を予定。主として

- 「八ヶ岳おもてなし講習会」開催など、観光人材の育成
- 滞在プランや滞在特典の開発など、宿泊滞在の促進
- 誘客促進を図る観光情報発信や誘客プロモーションの実施など

【問】民間事業者が取り組む事業は

【答】八ヶ岳南麓やとわれ支配人会では、観光客の連泊滞在を促進するため、観光イベントや美術館等の文化施設を周遊する「八ヶ岳宿泊滞在プラン」を開発また、観光情報の発信強化事業として、八ヶ岳観光圏ホームページを作成

【問】八ヶ岳南麓は小海線が中心である。観光圏の枠組みに野辺山がなく蓼科寄りだが認定に関わる進め方は

【答】他県との連携が認定の可能性を高めるということで、4市町村が呼ばれてヒアリングをうけた。やる気を示した3市町村がパートナーとなり、山梨県、長野県も支援するというで協議会をつくり、計画を策定して今回の認定となった。

【問】北杜市、富士見町、原村の3市町村の財政的な役割分担の比率は。

【答】人口、面積を勘案し、北杜市、富士見町、原村で、7：2：1の割合で分担